④
大学ゴッコ

清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局
〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11
TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599
URL: https://www.kiyomigata.sakura.ne.jp
Mail: kiyomigata@cy.tnc.ne.jp

清見潟大学塾　第三十九回度　開講式を迎えて

塾長　牧田まさ子

令和五年三月二十五日　清見潟大学塾の第三十九回度開講式が、静岡市長　田辺信宏　様、市議会副議長佐藤成子　様、教育長　赤堀文宣様、清水区長　塩原　博　様、生涯学習推進課長　宮城島清也　様と五名の来賓をお迎えし、昨年同様、一講師、一塾生と縮小して「ふれあいホール」にて開催されました。「マスク着用」が個人の判断等、少しずつコロナの規制が緩みつつの中においても、まだまだ感染予防をしっかりして行動して行きたいと思います。

今年度は十年、二十年表彰に該当する講師が無かった為、表彰は見送られましたが、来賓のご祝辞を頂き、新任の「健康！うたごえサロン」の梅田光美講師が力強い宣誓を行いました。

第二部では「エンジョイウクレレ教室Ⅰ・Ⅱ」の藪崎晴美講師の演奏に合わせて「めざせフラガール」の矢澤美智子講師のフラダンス。又、「健康リズム体操」の鈴木節子講師のジャズダンスを楽しませて頂きました。普段、見たり、聞いたりする事の少ない講師の演奏等、目の当たりにし、指導してもらえる塾生が少し羨ましく思いました。三十八回度は修了作品展、ステージ発表会等が開催でき、少しずつコロナ禍の前に戻っているのを実感いたしました。

こうして、毎年、開講できますのも静岡市生涯学習推進課や清水区生涯学習交流館運営協議会、清水区内生涯学習交流館、の皆様のご指導、ご理解、講師、塾生のご協力のおかげと心より厚くお礼申し上げます。

ちなみに、三十九回度は講座数九十九講座、講師五十八名、塾生数千二百五十名でスタート致します。講師、塾生の高齢化、コロナの影響で閉講する講座が六講座あり、講座数が百を割ってしまいました。毎年のことでございますが、生涯学習の大切さ、清見潟大学塾の教える楽しさ、教わる楽しさを、ぜひ外の世界に伝えて行って頂きたいです。

来年は創立四十周年を迎えます。節目の年に在籍していたことを誇りに思い「記念行事」を行いたいと思います。

是非、皆様のご協力をお願い致します。

暮らしは、ただ楽しくて
　甘いばかりでなく、
ほろ苦さもつらさも、
　悲しみもあるけれど、
だから、味わい深いんじゃないか。
一日一日、生きる実感を
　織り込んでいく、
そんな色とりどりのつづれ織りが、
　あなたにも、私にも、

暮らしの手帳より

講師会総催

三月十二日の講師総会で、第三十九回度の事業計画と予算が決まりました。

清見潟大学塾第39回度予算

R5.4.1～R6.3.31

事業科目	予算額（円）	備　　　考
収入の部		
運営費	4,783,000	4,000円×1,075人　2,300円×166人
講師特別負担金	70,000	５講座
後援会費	520,000	後援会企業30社
雑収入	1,000	利息等
繰越金	1,823,243	
合　計	7,197,243	
支出の部		
事業費	500,000	修了作品展、ステージ発表会会場使用料等
事務費	50,000	火災保険等
会議費	150,000	理事会・三役会議・40周年記念行事実行委員会交通費
通信費	180,000	受講通知はがき、電話代等
印刷費	400,000	募集チラシ等
消耗品費	150,000	コピー用紙・トナー等
器具・備品費	50,000	ＰＣ接続コード等
報賞品費	50,000	永年継続講師表彰等
人件費	3,700,000	給与2名分
通勤費	73,000	1名分
福利厚生	370,000	社会保険料等
交通費	70,000	ガソリン代・駐車場代等
手数料	35,000	運営費振込手数料
賃借料	1,100,000	家賃・印刷機リース料
光熱費	130,000	電気水道料
雑費	20,000	事務所雑費
予備費	100,000	香典生花等予備費
繰越金	69,243	
合　計	7,197,243	

第３９回度　清見潟大学塾　事業計画

(2023.4.1～2024.3.31)

月	日	行　　事
4	上旬	清水区生涯学習交流館１８館と生涯学習推進課長に挨拶廻り(塾長・事務局長)
	9(日)	第１回理事会　(辻生涯学習交流館)
	１３(木)	交流館長会議にて本年度の事業活動に協力依頼(塾長・事務局長)
5	中・下旬	後援会企業　社挨拶廻り（塾長・副塾長・事務局長）
	下旬	会計監査
6	１１(日)	第２回理事会　(辻生涯学習交流館)
	２５(日)	幹事会（学部別活動報告会）
7		
8	上旬	広報しずおかに新規講師募集掲載依頼
	１３(日)	第３回理事会　(辻生涯学習交流館)
9	１０(日)	第１回第２学部講師会（辻生涯学習交流館）
	下旬	80歳講師面談
10	上旬	広報しずおかに新規塾生募集掲載依頼
	8(日)	第４回理事会　(辻生涯学習交流館)
	下旬	親睦バス旅行
	１９日（木）	交流館長会議にて来年度募集についてお願い(塾長・事務局長)
11	上旬	新規講師応募者オリエンテーション
	7(火)	清水区自治会連合会長会議で募集小冊子回覧依頼（塾長・事務局長）
	上旬	各交流館に既存講座申請書提出
	１２（日）	第２回　第２学部講師会　(辻生涯学習交流館)
	下旬	第１回　第１学部講師会　(辻生涯学習交流館)
	下旬	シミズ毎日、ベイプレスに塾生募集、作品展・発表会の広報を依頼
12	１・４・５	塾生募集小冊子仕分け
	６～８	募集小冊子を各交流館、自治会、行政、企業等へ設置お願いと配布
	１０(日)	第５回　理事会　(辻生涯学習交流館)
1	２７(土)	新年祝賀会(ホテル　クエスト清水２階18時～)
2	１０(土)	第６回理事会(辻生涯学習交流館)
	中旬	新規開講者説明会
	２４・２５	修了作品展（マリナート１階ギャラリー）
	２５（日）	ステージ発表会（マリナート小ホール）
3	３（日）	臨時理事会 (事務局)
	１０（日）	講師総会(ふれあいホール)
	２３（土）	４０回度開講式（ふれあいホール）

・回度の途中で、塾長の要請あれば三役会や臨時理事会を開催

第２回度修了証　　提供　楽しい絵手紙　栗田稔江講師

第三号

修了証書

清見潟大学塾

栗田稔江　殿

あなたは、ゆとりの心を持ち、健康な体と、生きがいにみちた生活の中に、ちょっぴり「あそびごころ」を忘れず、輝かしい未来にむかって、美しく老ゆることをうたった本塾建学の精神を体現し、よく勉強に精励して清見潟大学塾第二回の課程を終了しました。
ここに、単位を認定し修了証を授与します。

昭和六十二年八月二十一日

清見潟大学塾塾長　山梨隆司

誰でも話せる英会話　教授　山口英子

清見潟大学塾之印

清見潟大学塾長之印

男の料理教室Ⅱ

塾生　山田貞雄

団塊世代に育った私は、仕事に明け暮れたゆとりのない人生を送ってきた。まさか、友人と、料理教室に通う日が来ようとは、夢にも思わなかった。

色んなことに興味を示し、積極的に行動する友人が、料理教室に申し込んだという話を耳にした。右手の怪我で、挑戦する事に消極的になっていた私ではあったが、リタイアした後のセカンドライフを、どう過ごそうかと言う悩みは、常に抱えていた。

未経験でもやって行けるか、楽しんで続けて行けるかなど、あれこれ考えると、趣味を見つける事は思うほど簡単ではなかった。

取り敢えず、通っている時間を楽しめればいい位の軽い気持ちでと自分に言い聞かせても、私にとっての一歩は重かった。食べる事は大好きだし、リタイア前の気力体力のある内に始めるのが良いという先輩達の教えがあっても、一大決心をしての入塾であった。

二年間続けてこれたのは、安い料金で楽しい時間を共有させて下さっている、先生や館内の職員の方々のご努力のおかげである。

限られた時間内でのスタートは、常に早炊きスイッチから始まる。何ができるかワクワク気分なんて言っていられない程の真剣勝負だ。レシピに調味料の分量を書き込み、煮たり焼いたりの隙間時間に急いで汚れ物を洗う。困ればすぐに先生が来て助けてくれる。こんなに物事に真剣に向き合う二時間はお宝ものだ。いつ研いでくれているのか、実によく切れる包丁など、有難いばかりだ。物価高の昨今、限られた予算内での献立はさぞや大変だろう。予定の食材を変更したり減ったりはご愛嬌だ。出来上がったランチは二人前をタッパーに詰め、口を開けて待っている妻達の元へ。

四人でテーブルを囲み、妻達は「美味しいね。上手だね。」と褒めまくる。お世辞だと分かっていても悪い気はしない。

しかし、永年食事の支度をしてきた妻に、私はこんな褒め方をした事があっただろうか。この教室に通い出したからこそ感じる、多くの人への感謝と反省の気持ちだ。

塩の一つまみでも量は人により違う。良い事は沢山摘まんで、自分の栄養にしたい。

マスクだけの素顔を知らない仲間達。マスクが取れて、出来立てを食しながらのおしゃべりができる日が楽しみだ。

南南東を向きながら、持ち帰った太さばらばらの恵方巻を、四人で黙々と食べた味は格別であった。

男の料理教室Ⅱ
辻生涯学習交流館
第二・四（金）十時から
講師　牧田まさ子

今日のメニュー
パエリア風炊き込みご飯と鶏むね肉スティック

作品を展示しました

袖師交流館まつり
二月二十四日から三月九日
簡単トールペイント
講師　植田　靖子

募金ありがとうございます

・筆のたのしみ
・書道「蓬会」
・入門「実用書道」
　　講師　太田静苑
・誰でも知ってる歌・唄・うた
　　講師　鈴木芳子

清見潟川柳大募集！

清見潟大学塾や日常での気付きを川柳にしてみませんか。清見潟ニュースに掲載します。お名前はペンネームでも結構です。電話、ファックス、メール等でご連絡ください。ご自分で作った作品に限ります。お待ちしています。

・年寄りと　笑うあんたも　年をとる
・次出すよ　言われたけれど　誘いなし
・頭下げ　これも給与の　内なのだ
　　クマ太郎

この次生まれて来る時のために

知人に坊さんがいる。もとは銀行員で、住職の兄が急死したので跡を継いだ。仏教大学出身で子供のころからお経を読んでいたので、俄坊主も板につき、近ごろはめっきり本物のお坊さんらしくなった。この坊さん、銀行時代のマーケティング体験を生かして、毎年十二月に檀家のリサーチをやる。七十歳以上の高齢者を抽出して翌年の経営計画を立てる。ところがなかなか計画通りに事が運ばず頭を抱え込む。

「近ごろの年寄りはしぶといね。予定の三人に一人しか死なねぇんだ。商売上がったりだ。これじゃ、俺様の方が先に参っちまう」と天を仰ぐ。

一方、健康に関する本を読むと、氾濫する食品添加物や廃棄物で人間の寿命は短くなると警告しているが、実際には年々人間の寿命は延びていく。もしかすると、食品に最も多く含まれている防腐剤のお陰で腸が腐敗せず長生きしているのかもしれない。放っておいても腐らず、ひと月もすればミイラになるかもしれない。

昔から人間の死を「一巻の終わり」というが、私は「第二巻の始まり」と考えることにしている。己の一生が終わるのではなく、全く新しい次の人生が始まるのだと。ただし、必ず人間に生まれ変われるという保証はない。万一、ゴキブリにでも生まれ変わったら目も当てられない。何としても人間に生まれ変わるためには、自らの教養を高めるために一生懸命勉強することだ。これが生涯学習である。

生涯学習は長い人生を退屈しないためにあるのではない。私たちの大学塾のピアノ教室には高齢者が百人以上もいる。ある塾生に友人が聞いた。「あんた、七十五になってピアノを習ってどうするの」。塾生曰く「今から習っておけば、この次生まれてきたとき、もしかすると天才ピアニストになれるかもね」。まさに来世信仰の世界である。この次生まれてきた時にはもっと素晴らしい人と出会い、素晴らしい恋がしたい。生涯学習の目的はここにある。

老後は次の人生への助走である。

『不良老人のすすめ』より抜粋
著者　故大石正路（第二代塾長）